

2012年度第1回 P&I 研究会シンポジウム 「印刷技術が貢献する医療・バイオ分野」

主催 : (社)日本印刷学会 技術委員会・P&I 研究会
協賛 : 高分子学会、日本化学会、応用物理学会、色材協会、日本写真学会、日本画像学会、
画像電子学会、有機エレクトロニクス材料研究会、フォトポリマー懇話会、日本印刷産業連合会、
日本印刷産業機械工業会、日本再生医療学会、日本バイオマテリアル学会。
日時 : 2012年7月12日(木) 10:00～17:30(受付開始 9:30)
会場 : 〒103-8233 中央区日本橋 3-7-20 ディーアイシービル 17F ホール

開催趣旨

少子高齢化の進展による医療費の増大は大きな社会問題であり、医療分野、バイオテクノロジー分野での技術革新が求められ、各種の研究開発が進められています。このシンポジウムでは、パターンニング技術、微細加工、精密塗工技術など、印刷関連技術が応用されている医療・バイオ分野のトピックスを集め、それぞれの分野の第一人者をお迎えして、今後の可能性や課題などを紹介いただくことにしました。政府の新成長戦略の一つに挙げられている「医療分野」で、印刷技術がどのように貢献できるのか、その領域を探ります。

プログラム

- 10:00～10:50 デジタルヘルスを産業に～技術で医療・健康・介護を変える～
日経 BP 小谷 卓也
- 10:50～11:40 マイクロバイオセンサー研究
大阪大学大学院工学研究科 教授 民谷 栄一
- 11:40～12:30 プリンティング技術の再生医工学への展開
富山大学大学院理工学研究部(工学)教授 中村 真人
- 昼休み----
- 13:30～14:20 細胞接着性を制御した細胞培養基材の開発
大日本印刷(株) 研究開発センター 土屋 勝則
- 14:20～15:10 インクジェットプリンターによる人工骨の創製
東京大学工学系研究科 教授 鄭 雄一
- 休憩----
- 15:20～16:10 遺伝子解析チップと個別化医療
凸版印刷(株)総合研究所 事業開発研究所 牛田 弘
- 16:10～17:00 高分子ゲルのバイオミメティック材料としての新展開
東京大学工学部 マテリアル工学科 教授 吉田 亮
- 17:00～17:45 名刺交換会

定員 : 80名

参加費 : 会員・協賛団体会員10,000円、教職員・シニア2,000円、学生1,000円、非会員12,000円

申込先 : (社)日本印刷学会 〒104-0032 東京都中央区新富1丁目16-8

E-Mail:nijspst-h@attglobal.net FAX:03-3552-7206 TEL:03-3551-1808

申込方法 : 日本印刷学会のホームページ<http://www.jspst.org/>からの参加登録をお願いします。

セミナー・講座・シンポジウムから本シンポジウムを選択してお申し込みください。

E-Mailまたはファックスでも結構です(氏名、所属、連絡先、会員の有無を記入ください)。

支払いは当日受付でお願い致します。定員がありますので、お早めにお申し込みください。

お断り : 事情によりプログラムまたは講師を変更する場合があります。